

B 2023/7/2(日)9:50-12:50

「漢方薬を介してモノからヒトへ」

講座情報

デジタル化が進む中で AI や IoT によって大きく社会が変化しようとしている。医療の分野でもデジタルヘルスの普及によって薬ではなく、デジタルの認知行動療法で治療するツールが普及し始めている。こうした中、薬学においてもモノからコトへの変換が迫られている。漢方治療は漢方薬というモノは挟むがコトとしての要素が大きい。そこには病気を診るのではなく、人を診る漢方の全体知が根底にある。また、薬のみならず養生という生活指導が欠かせない。本講演では漢方を活用したモノからコトへの変化について解説する。

《学習到達目標》

- ・モノからコトへの社会背景を理解する。
- ・モノとしての漢方薬について理解する。
- ・病気を診る→人を診るという漢方の全体知を理解する。
- ・多愁訴・多疾患患者を診るコツを理解する。
- ・代表的な漢方薬について説明できる。
- ・漢方薬の適切な服薬指導ができる。

講演者情報

渡辺 賢治

医療法人社団修琴堂 大塚医院 院長、慶應義塾大学医学部漢方医学センター 客員教授

プロフィール

<略歴>

1984 年慶應義塾大学医学部卒、医師・医学博士

慶應義塾大学医学部内科、東海大学医学部免疫学教室、米国スタンフォード大学遺伝学教室、北里研究所(現:北里大学)東洋医学総合研究所、慶應義塾大学医学部漢方医学センター長、慶應義塾大学環境情報学部教授・医学部兼任教授などを経て 2019 年より修琴堂大塚医院長。横浜薬科大学学長補佐・特別招聘教授を兼務。

<認定資格>

WHO 国際疾病分類伝統医学委員会共同議長

WHO 医学科学諮問委員、日本臨床漢方医会副理事長

漢方産業化推進研究会理事長、神奈川県顧問・奈良県顧問 等

<所属学会・委員等>

日本内科学会総合内科専門医

日本東洋医学会漢方専門医

主要著書・参考文献

漢方で感染症からカラダを守る ブックマン社 2021

未病図鑑 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2020

漢方医学 同病異治の哲学 講談社学術文庫 講談社 2019

マトリックスでわかる！漢方薬使い分けの極意 南江堂 2013

日本人が知らない漢方の力 祥伝社 2012

今日の治療薬(分担執筆) 南江堂 2023

薬がみえる 第1巻(第2版)(分担執筆) メディックメディア社 2021

セルフメディケーション/一般用医薬品・漢方薬・保健機能食品(臨床薬学テキストシリーズ) (分担執筆)
中山書店 2021年

月刊アグリバイオ「高品質漢方生薬原料の生産と漢方の六次産業化」(分担執筆) 北隆館 2021年8月号